

イラスト制作の流れと概念：

パソコンで書くイラストも、人が描くことに変わりはありませんので、工程やルールは紙に描く絵と同じです。美術の授業の絵を描く工程を思い出していただければ幸いです。

1. 構成・ラフ制作



大きな変更は
ここまで！

お話をお伺いして
イラストの構成を考えます

鉛筆で大まかなアタリを描きます。1番ディカッションが必要な工程です。本番のサイズよりも小さい紙大まかに書くので大幅な修正も可能です。構想と違えば消しゴムで消して、よりイメージに近い形に近づけます。ご要望は気兼ねなくお伝えください。

- ・○○○○を書いて欲しい
- ・○○○○を入れてほしい
- ・○○と△△△の場所を入れ替えて欲しい
- ・ポーズを変更したい

2. 下書き制作



細かい変更は
ここまで！
色の要望がある時は
ここまで

ラフを元に
下書きを制作します

ラフを元に、鉛筆で線画を書いていきます。色はついていませんが、完成形の線画をご確認いただきます。まだ消しゴムが使えるので、修正は可能です。大幅に変更が出ると、書き直しに時間がかかるため要望は①でしっかり伝えておきます。

- ・○○○○を少し大きくして欲しい
- ・○○○○を追加したい
(パーツなど)
- ・表情を変更したい
(例：笑顔をもっと大袈裟に)

3. 清書・着色



色をのせて
しまうと
修正困難です

下書きを元に
ペンや絵の具で色をつけます

下書きを元に、ペンと絵の具で書いていきます。ペンも絵の具も、一回筆を紙にのせてしまえば消すことはできません。この段階での修正は一からの書き直しになってしまうので、①または②で要望は伝えきっておいてください。

この段階での修正は追加費用 + 追加納期が発生する場合があります。色の変更も場合によっては難しいことがあるため、イメージがある場合には③の前にお伝えくださいませ。

※各ステップで修正回数が増えすぎると納期が伸びる + 追加費用が発生する場合があります

イラストのテイスト・タッチ・色合いの方向性をご提案させていただきます

※ご希望・ご要望があればお知らせください



なおせる

なおせない

完成